



くす玉を割って完成を祝いました

観光客増に期待

歴史ガイド案内センター完成

江川邸駐車場に歴史ガイド案内センターが完成し、三月二十五日に竣工式を行いました。市長や市議会議員、江川邸や歴史ガイドの関係者などが出席し、新施設の完成を祝いました。既存のトイレの老朽化にともなう建て替えの際、江川邸周辺を散策する観光客が増えたため、案内センターを併せて整備することになりました。伊豆の国歴史ガイドの会のメンバーが土日、祝日に在駐し、歴史を中心に観光案内を行います。案内センターやトイレが、親しみやすく快適に利用できることで、伊豆の国市の観光振興や宿泊客の拡大が期待されます。

PHOTOぎやらり〜

拡大版

市内の農家9人がエコファーマー認定受ける

環境にやさしい減農薬、減化学肥料で農産物の栽培に取り組むエコファーマーに、市内から九人の農家が認定されました。認定書授与式が三月二十四日に東部農林事務所で開催されました。今回認定されたのは、五年間の認定期間が切れることに伴い再認定された多田稲作研究会メンバー（小島登さん、杉山衛作さん、野中安雄さん、鈴木金男さん、佐藤清さん、鈴木重直さん、金井正男さん）と、木内久見さん（寺家）の八人です。また、新たに葦山多田の古屋久さん（葦山多田）が認定を受けました。市内の認定者は、田中山のダイコン生産者など、計二十三人となりました。このエコファーマーという制度は、『持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律』に基づいて環境負荷の低い農業に積極的に取り組む農業者に対して県知事から認定されるものです。



東部農林事務所長から認定書を受け取る市内農家九人

近代化産業遺産認定プレートを設置



プレートを取り付ける市長、議長ほか

昨年十一月に経済産業省から『近代化産業遺産群』に認定された葦山反射炉。三月三十一日に認定プレートを反射炉入り口に設置しました。このプレート設置により、市内外に認定を周知し、多くの人に反射炉を知ってもらうとともに、市内のほかの歴史遺産を活用した観光振興につなげることが期待されます。市長は、「同じテーマで認定を受けたほかの都市から視察が来ている。互いに連携し、歴史を通じた交流を深めていきたい」と話しました。

みんなの川をみんなで守る『リバーフレンド』に市内4区認定



署名をするリバーフレンドの面々

行政と地域住民が協力して河川の美化活動に取り組む県の『リバーフレンドシップ制度』の同意書調印式を、三月二十七日に市役所で実施しました。認定を受けたのは、浮橋区、江間区、長崎区、奈古谷区の四区で、県が管理する深沢川、江間川、柿沢川、堂川の各一級河川で、それぞれ美化活動に取り組むことに同意しました。各区長と市長、県沼津土木事務所の岡田技監が同意書に署名しました。各区には県から草刈り機や軍手などが支給され、リバーフレンドとして活動します。

書画で日中交流

三月三十日、中国江蘇省書道文化視察訪日団（趙团长他八人）が伊豆の国市を訪れ、大仁市民会館で『日中書画交流展』を開催しました。今回訪問したのは江蘇省公務員書画協会の代表で、交流展には書道、水墨画、墨絵など訪日団の作品八十二点と伊豆の国市文化協会の作品二十二点が展示され、日頃の活動の成果を披露しました。また、会場では揮毫（書画を書（描）くこと）が行われ、趙团长や団員のみごとな筆運びに来場者は釘付けになり、作品が完成すると大きな歓声が上がりました。



揮毫を行う趙团长（右）の見事な筆運び

桜の下で春を満喫 狩野川さくら祭り

元気な踊りで来場者を楽しませた『よさこいソーラン絆』

四月五日、六日に狩野川さくら公園で狩野川さくら祭りを開催しました。三月二十五日からライトアップされ、通る人を楽しませてきた桜並木は、この日最後の桜吹雪で来場者を迎えました。会場では温泉まんじゅう詰め合わせや『パン祖の伊豆パン』の販売、よさこいソーラン絆の踊り、伊豆長岡温泉芸妓連による華の舞など、多くの催しがありました。二日間でのべ五千人の来場者は、散っていく桜を惜しみながら、イベントを楽しみました。

